

人間科学専攻（修士課程）

【教育研究上の特徴・目的】

本専攻には、環境・芸術・思想専修と心理臨床専修の研究分野がある。環境・芸術・思想専修では、人間の存在の場としての環境、人間の存在の証明としての芸術、人間の創り出す思想について研究を深める。心理臨床専修では、臨床心理学的援助に関する研究力および実践力を鍛え、将来的に医療・福祉・教育・司法を中心とした領域で活躍する臨床心理士を養成する。

教育基本方針

甲南大学大学院人文科学研究科人間科学専攻は、環境・芸術・思想専修と心理臨床専修の各研究領域に関し、それぞれの領域の研究に必要な、先行研究の検討、目的に応じた研究計画立案、研究成果の伝達等についての基礎的な能力を修得するとともに、幅広い専門知識、高い倫理性、積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成をめざします。【修士課程】では、教員、臨床心理士、博物館学芸員をはじめとして、現代社会の複雑な問題に柔軟に対応できる幅広い専門知識を備えた専門職業人・研究者の育成をめざし、【博士後期課程】では、現代社会の複雑な問題に広く、かつ、深く対応できる幅広い専門知識を備えた高度専門職業人、創造性豊かな自立した専門研究者の育成をめざします。

修了認定・学位授与の方針

甲南大学大学院は、大学院学則第1条に定める、甲南大学の教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的としています。

人文科学研究科人間科学専攻においては、本研究科及び本専攻の教育基本方針のもと、下記の能力・資質を身につけ、社会及び学術の発展・向上に寄与できる人材の育成を教育目標とします。課程の修了にあたっては、本研究科の定める期間在学し、本専攻が定める課程修了に必要な単位を修得のうえ、論文等の審査及び最終試験に合格した者に修士(文学)の学位を授与します。

【修士課程】

- (1) 環境・芸術・思想分野と心理臨床分野のどちらかに重点を置きつつ、一部、他の分野も学び、幅広い専門知識を備えた専門職業人としての実践能力、並びに、創造性豊かな研究能力を有しています。
- (2) 理論的な専門的知識と併せて、実践的な専門的能力をも身につけ、高い倫理観と積極的な社会貢献への意志を備えています。

教育課程編成・実施の方針

人文科学研究科人間科学専攻では、学位授与の方針に掲げる能力・資質等を修得させるために、必要とする科目を体系的に編成し、演習、講義、実習のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、学位論文等の作成等に対する指導を行います。加えて、修了認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。カリキュラムは、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を検証することにより、組織的かつ定期的に見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、評価については以下のように定めます。

【修士課程】

1) 教育内容

人間科学専攻には、環境・芸術・思想と心理臨床の2専修を設置しており、各専修における高度専門職業人又は自立した研究者及び創造性豊かな人材として必要な能力を習得するため、それぞれの専門分野における知識、技能を身につけるための教育課程を編成し、実施します。一部、幅広い知識と視野の習得を促すため、他の専修の科目を配置します。心理臨床専修では、修士課程修了とともに臨床心理士資格審査の受験資格を取得できるよう教育課程を編成し、実施します。

2) 教育方法

- (1) 研究技量を身につけるための演習、専門知識を習得するための講義、専門技量を習得するための実習、又はこれらを組み合わせた授業を開講します。
- (2) 理論的な修練と併せて、実践的な専門的能力と高い倫理性をも身につけるよう研究指導します。
- (3) 研究指導は、演習や個別指導により実施します。

3) 評価

- (1) 単位の認定については、大学院学則第9条に基づき、筆記試験、口述試験、報告等及び各科目のシラバスに定める方法によって学期末又は学年末に評価します。
- (2) 修士論文及び修士論文に代わる研究成果物の審査並びに最終試験は、専攻で定める審査基準に基づいて行い、その結果に基づき合否を判定します。

到達目標		対応する修了認定・学位授与の方針の番号
A	先行研究を踏まえた上で、自らの問題意識、着眼点を明らかにすることができる能力	(1)(2)
B	目的に応じた研究計画を立案し、情報収集、分析方法を選定、創意工夫する能力	(1)
C	論拠となる資料を明示して適切な分析と独自の考察を展開する能力	(1)
D	研究の成果を適切な文章で論理的に伝える能力	(1)
E	研究成果や自らの考えを的確にプレゼンテーションする能力	(1)
F	環境・芸術・思想における自らの専門分野の深い知識	(1)(2)
G	現代社会の複雑な問題に柔軟に対応し、社会に貢献する能力	(1)(2)
H	心理臨床学における深い知識	(1)(2)
I	臨床現場に貢献するための心理臨床実践能力	(1)(2)
J	専攻分野の関連領域に関する幅広い教養	(2)

人間科学専攻(修士課程)

[2016年度(平成28年度)以降の入学生に適用]

	授業科目名	単位数	到達目標										
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
必修	人間科学総論Ⅰ	2							○			○	
	人間科学総論Ⅱ	2							○			○	
	人間科学演習Ⅰ	4	○	○	○	○	○						
	人間科学演習Ⅱ	4	○	○	○	○	○						
選択必修	環境・芸術・思想	人間科学思想研究	2						○	○			○
		言語思想研究	2						○	○			○
		現代芸術思想研究	2						○	○			○
		芸術思想研究	2	○	○	○	○	○	○				○
		人間・環境学研究	2				○	○	○	○			○
		環境倫理研究	2						○	○			○
		国際環境ネットワーク	2						○	○			○
		国内環境ネットワーク	2						○	○			○
		生命倫理研究	2						○	○			○
		現代思想特論	2						○	○			○
		言語イメージ特論	2						○	○			○
		現代社会と表現	2					○	○	○			○
		死生学研究	2						○	○			
		芸術と福祉	2	○		○		○	○	○			
		美学思想特論	2	○	○	○	○	○	○				○
		環境教育学特論	2							○			○
		フィールドワーク特論Ⅰa	2							○			○
		フィールドワーク特論Ⅰb	2							○			○
		フィールドワーク特論Ⅱ	2							○			○
心理臨床	人間関係学特論	2								○	○		
	社会心理学特論	2								○	○		
	人格心理学特論	2								○	○		
	投映法特論	2								○	○		
	臨床心理学特論Ⅰ	2								○	○	○	
	臨床心理学特論Ⅱ	2								○	○	○	
	臨床心理実習	2			○					○	○	○	
	臨床心理面接特論Ⅰ	2								○	○	○	
	臨床心理面接特論Ⅱ	2								○	○	○	
臨床心理査定演習Ⅰ	2			○					○	○			

授業科目名		単位数	到達目標										
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
選択必修	心理臨床	臨床心理査定演習Ⅱ	2			○					○	○	
		臨床心理査定演習Ⅲ	2			○					○	○	
		トラウマ回復支援論	2								○	○	
		臨床教育学特論	2								○	○	○
		精神医学特論	2								○	○	○
		障害者(児)心理学特論	2								○	○	○
		臨床心理基礎実習	2								○	○	○
		心理学統計法	2								○	○	○
		心理学研究法特論	2		○	○							
		心理療法特論	2								○	○	○
専攻横断科目		日本文学の主要問題a	2							○			○
		日本文学の主要問題b	2							○			○
		日本語学の主要問題a	2							○			○
		日本語学の主要問題b	2							○			○
		英語学の主要問題a	2							○			○
		英語学の主要問題b	2							○			○
		英米文学の主要問題a	2							○			○
		英米文学の主要問題b	2							○			○
		英米文化の主要問題a	2							○			○
		英米文化の主要問題b	2							○			○
		応用社会学の主要問題Ⅰ	2							○			○
		応用社会学の主要問題Ⅱ	2							○			○
		歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2							○			○
		歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2							○			○
		人間科学思想の主要問題Ⅰ	2					○	○	○			○
		人間科学思想の主要問題Ⅱ	2					○	○	○			○
		人間科学思想の主要問題Ⅲ	2					○	○	○			○
	人間科学思想の主要問題Ⅳ	2		○			○		○			○	
	人間科学思想の主要問題Ⅴ	2					○	○	○			○	
関連基礎科目	環境・芸術・思想	現代思想基礎研究Ⅰ	2						○				
		現代思想基礎研究Ⅱ	2						○				
		環境学基礎原理Ⅰ	2						○				
		環境学基礎原理Ⅱ	2						○				
		芸術学基礎研究Ⅰ	2						○	○			○
		芸術学基礎研究Ⅱ	2						○	○			○
	心理臨床	臨床心理学基礎研究Ⅰ	2								○		
		臨床心理学基礎研究Ⅱ	2								○		
		臨床心理査定基礎研究Ⅰ	2								○		
		臨床心理査定基礎研究Ⅱ	2								○		

授業科目名	単位数	到達目標									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J

[所定の単位]

専門探究コース環境・芸術・思想専修

1. 必修科目12単位、選択必修科目22単位以上(ただし、「心理臨床」の科目群の人間関係学特論、社会心理学特論、人格心理学特論、臨床教育学特論、障害者(児)心理学特論、心理学統計法、心理学研究法特論から4単位以上、「環境・芸術・思想」の科目群から8単位以上)、併せて34単位以上を修得すること。
2. 関連基礎科目は、4単位を上限として選択必修に充てることができる。
3. 研究指導教員が必要と認めるときは、専攻横断科目及び、他専攻の専門科目を8単位を上限として選択必修科目に充てることができる。

専門探究コース心理臨床専修

1. 必修科目12単位、選択必修22単位以上(ただし、「環境・芸術・思想」の科目群から4単位以上、「心理臨床」の科目群から8単位以上)、併せて34単位以上を修得すること。
2. 専攻横断科目のうち「人間科学思想の主要問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」から4単位を「環境・芸術・思想」の選択必修科目に充てることができる。
3. 関連基礎科目は、4単位を上限として選択必修に充てることができる。
4. 研究指導教員が必要と認めるときは、専攻横断科目(「人間科学思想の主要問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」を除く。)及び、他専攻の専門科目を8単位を上限として履修することができる。

多元教養コース環境・芸術・思想専修

1. 必修科目12単位、専攻横断科目(8単位以上12単位以内)、選択必修科目(ただし、「心理臨床」の科目群は、人間関係学特論、社会心理学特論、人格心理学特論、臨床教育学特論、障害者(児)心理学特論、心理学統計法、心理学研究法特論に限る)、併せて34単位以上を修得すること。
2. 関連基礎科目は、4単位を上限として選択必修に充てることができる。
3. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目(専門科目に限る)については、8単位を上限として選択必修科目に充てることができる。